

854263

9342
400
T. 4

にほんご

日语综合阅读文选



4

学技术文献出版社重庆分社

9342
400
T. 4

55263

9342
400
T. 4

日语综合阅读文选

4

李 方 编注

高 可 夫 审校

科学技术文献出版社重庆分社

日语综合阅读文选 4

李 方 编注

高可夫 审校

责任编辑 陈方

科学技术文献出版社重庆分社 出版

重庆市市中区胜利路132号

新华书店重庆发行所 发行

中国科学技术情报研究所重庆分所印刷厂 印刷

开本:787×1092毫米1/32 印张:5.125 字数:11万

1988年5月第1版

1988年5月第1次印刷

印数:1-3560

ISBN7-5023-0183-6/G·30 定价:1.30元

前 言

阅读是学习语言的重要手段之一，也是提高听、说、写等语言技能的基础。因此，必须通过大量阅读实践来培养阅读能力。

为了向广大日语学习者提供一套辅助阅读材料，我们从日本中小学教材和其他原版书刊中精选出范文85篇，汇编成这套《日语综合阅读文选》，并由浅入深，分四册加注出版。内容包括科普和新技术48篇，日常生活和文化生活21篇，故事3篇，其他13篇。文章短小精练，语言规范，题材新颖，内容广泛，知识性、趣味性强，疑难点均有详细注释。各册附有词汇表，供读者查阅。

本《文选》适用于高等院校非日语专业本科生、研究生和广大日语学习者作泛读材料或快速阅读材料。

本《文选》在编注过程中承蒙四川外国语学院日语系热情帮助，在此表示诚挚的谢意。

由于编者水平有限，书中可能有不妥或错误处，恳请读者批评指正。

编 者 1987.1

目 录

- 一、形と線と文字(1)
形、线与文字
- 二、数学と音楽(7)
数学与音乐
- 三、ふしぎな光(15)
不可思议的光
- 四、ぼくは虫博士(22)
我是昆虫博士
- 五、科学と人の心(31)
科学与人们的心愿
- 六、ロボットについて(35)
关于机器人
- 七、ふり子式電車(41)
摆式电车
- 八、菊の花(一)(47)
菊花(一)
- 九、菊の花(二)(54)
菊花(二)
- 十、いもを洗うさる(59)
洗薯块的猴子
- 十一、生活と美(65)
生活与美
- 十二、OA化は時代の流れ(74)
OA化是时代的潮流

十三、「明日のオフィス」を訪ねて……………	(81)
访问“明天的办公室”	
十四、オオカミは害獣か(一)……………	(89)
狼是害兽吗?(一)	
十五、オオカミは害獣か(二)……………	(95)
狼是害兽吗?(二)	
十六、ことばと文化……………	(101)
语言与文化	
十七、最後の授業(一)……………	(109)
最后一课(一)	
十八、最後の授業(二)……………	(116)
最后一课(二)	
词汇表……………	(122)

一 形と線と文字

数学といえば、かならず数字がでてくるわけではありません。① 形や線や文字も数学です。

では②、数学は数の勉強ではないのでしょうか。

そう、とも言えるし、ちがう、とも言えます。③

数学は英語でmathematicsといますが、これは古いギリシア語のmanthano (学ぶ) とmathema (科学) から来たことばです。どうです？

「数」とも「数える」とも言っていないでしょう。④

数学とは、学ぶこと、考えることです。⑤数学は科学の女王と言われますが、それは数学があらゆる科学知識の基礎だからです。⑥数の勉強は、数学のほんの一部にすぎません。⑦数学では、ほかにもいろいろなことをやります。

——線、点、形、平面とはどんなものか。

——線や点や形を紙にかきあらわすには、どうしたらいいか。⑧

——線や点や形について、どんな考え方⑨をしたらいいか。

数学では、ものともとの関係についても考えます。たとえば、私たちが電車で旅をするとき、その電車の速さと、目的地までの時間と距離との間にはどんな関係があるか、どうやってみつけますか？ ——数学です。

ピアノの鍵盤の音と音との間の関係、人間の頭の大きさや腕の長さや背の高さとの関係は、どうすればわかりますか？ ——数学です。

数学では、大きさや形についても考えます。

立方体とは何か、

八角形とは何か、

螺旋とはどんなものかを考えるのです。

もちろん、形の話や、ものとの関係の話のなかに数学がでてくることがあります。⑩でもその場合でも、数字がいちばん重要だというわけではありません。⑪

私たちは数学を使って、このほかにもいろいろなことを知ることができます。たとえば、直線や円の書きかた、人工衛星やロケットの軌道の形、暗号の作り方、あなたが一日のうちどのくらいテレビにかじりついているかなど……。⑫かわったところでは⑬、上着を着たままシャツをぬぐ方法も教えてくれますよ！もちろん数字を使わずにやるのです。⑭

実は、数学には二つの世界があります。

一つは私たちのまわりにある現実の世界で、ここには、見たり、さわったりできるものがいっぱいあります。⑮私たちはこの世界で線を引いたり、数字や文字を書いたり、定規で長さを測ったりするのです。

もう一つは、頭のなかの世界です。そこには、見たりさわったりできるものは何一つありません。⑯ただ、頭の中で想像するだけです。⑰そこでは、鉛筆で点を書くわけにはいきません。⑱なぜって⑲、線の長さをはかったり、点を打ったりするときの線や点は、現実世界に属していて、数学の世界の考えを紙にあらわしたものにすぎません。

数学で形や線や文字のことを考えるとき、私たちは現

実の世界から想像の世界へと入っていかなければなりません。②でも心配ご無用。③私たちは毎日何回となくやっていて、こういうことに慣れているのですから。④

注 釋

① 数学といえば、かならず数字がでてくるわけではありません。(提起数学,并不一定要出现数字。)体言+“と 言えば”,相当于汉语的“谈及……”,“提起……”。动词连体形+“わけではない”,相当于汉语的“并不是……”。

② では”译为“那么”。

③ そう,ともいえるし,ちがう,ともいえます。(既可以说是学习数字,也可以说不是。)格助词“と”前面的句节是后续动词“いえる”的内容。“そう”在这里表示前面提到的“数の勉強”。

④ 「数」とも「数える」ともいってないでしょう。(既不是指“数”,也不是指“计算”。)“いってない”是“いっていない”的简略形式。

⑤ 数学とは,学ぶこと,考えることです。(数学是指学习,思考。)”……とは……”,惯用型,相当于“……というのは……”,意思是“所谓……”。

⑥ 数学は科学の女王といわれますが,それは数学があらゆる科学知識の基礎だからです。(人们说数学是科学的女王,这是因为数学是所有科学知识的基础。)”言われる”是“言う”的被动态。表示“人们说”的语意。“それは……からだ”,惯用型,意为“那是因为……”。

⑦ 数の勉強は,数学のほんの一部にすぎません。(数的学习,只不过是数学的一小部分。)”ほんの”,连体词,

意思是“仅仅”、“少许”等，体言+“にすぎない”是惯用型，表示“只不过是……”的语意。

⑧ ——線や点や形を紙に書きあらわすには、どうしたらいいか。(要在纸上描绘出线、点、形，该怎么办呢?) 用言终止形+“には”，表示目的，意为“为了……”，“要……”等。

⑨ 考え方(思考方法)，动词连用形+“方”，组成复合名词，表示“……方法”。例如“読み方”，译为“读法”。

⑩ もちろん……関係の話のなかに数学が出てくることもあります。(当然，在讲解形状、事物与事物之间的关系时，有时会出现数学。)”話”在这里表示“讲解”的意思。

⑪ でもその場合でも，数字がいちばん重要だというわけではありません。(不过，即使是在那种情况下，数字也不是最重要的。)前一“でも”是接续词，用在句首，表示逆接，意思是“不过”。后一个“でも”，副助词，表示“纵令”、“即使”等意。句子+“というわけではない”是惯用型。表示“并不是……”的意思。

⑫ ……あなたが1日のうちどのくらいテレビにかじりついているかなど……。 (……一天当中，你看多长时间电视等……。)“かじりつく”是自动词，原意是“不离开、缠住不放”，在这里可理解为“看”。

⑬ かわったところでは，上着を着たままシャツをぬぐ方法も教えてくれますよ。(奇妙的是，还教我们穿着外衣脱衬衫的方法。)”まま”是形式体言，表示“原样、原封不动”的意思。例如“電氣をつけたまま出て行った”，译

为“开着灯就出去了”。

⑭ もちろん数字を使わずにやるのです。(当然,教时是不使用数字的。)
“ず”是文语否定助动词“ぬ”的连用形,接动词未然形下。“ず”后面有时添加助词“に”,修饰后面的用言“やる”。

⑮ …ここには,見たり,さわったりできるものがいっぱいあります。(……这里有许多看得见、摸得着的东西。)

⑯ そこには,見たりさわったりできるものは何一つありません。(那里没有任何看得见、摸得着的东西。)
“何一つ”是连语,下接否定,意思是“什么也……”。如“何一つ心配はない”,译为“没有任何要担心的事”。

⑰ ただ,頭のなかで想像するだけです。(只是在头脑里想像。)
“ただ”是副词,意思是“唯”,“只”。“だけ”是副助词,表示限于某种范围,“只”,“仅”之意。
“ただ”常与“だけ”配合使用,加强语气。

⑱ そこでは,鉛筆で点をかくわけにはいきません。(在那里,不能用铅笔画点。)
“そこ”是指“頭のなか”,动词连用形+“わけにはいかない”,表示“不能……”。

⑲ なぜって,译为“要说为什么”。“って”是助词,在这里是将疑问作为话题提出。“なぜって”相当于“なぜかということ”。

⑳ 私たちは現実の世界から想像の世界へとはいっていかなければなりません。(我们必须从现实世界进入思维世界)。
“へ”是格助词,与“と”重叠,仍表示移动的方向,但语气更强。

㉑ でも心配で無用(不过,用不着担心),其中“心配で

無用”是“心配はご無用です”的省略形式。

② 私たちは毎日何回となく……，こういうことには慣れているのですから。（因为我们每天都反复这样做，习惯了。）“何回”之类的疑问数词＋“となく”，表示数量，次数之多。句尾的“から”是接续助词，用言终止形＋“から”，表示原因，理由。

二 数学と音楽

輪ゴムをきつく張って、指先でペンペン鳴らしてみたことはありませんか①。楽器のような音がしますね。輪ゴムの張り方を強くしたり、ゆるめたりすれば、音は高くなったり、低くなったりします。

輪ゴムを弾けば音楽をやっていることになるのでしょうか②。ちょっと違います。音楽はばらばらな音の集まりではありません、音と音との間に、ある特別の関係があるときに、始めて音楽になるのです。この関係のことを音程と言います。音程がなければ音楽はできません。

音程は2度、3度、4度と言うように数えます。③たとえば、ドの音を基準にして考えると、となりのレの音は二つめですから2度、ミの音は三つめですから3度といいます④。ドとファの関係は4度、ドとソの関係は5度で、ドと8度離れたドはオクターブと言います。

音程には協和する音程と協和しない音程があり、ドとソ(5度の音)のように、いっしょに鳴らすと耳に快くひびく二つの音を協和音と言います。⑤

音、音楽がまだ人間の声やごく簡単な楽器だけで演奏されていたころから⑥、人びとは、ある音程の音が耳に快くひびくことに気づいていました。でも、それがなぜかわからなかったのです。⑦

この問題の解決に乗り出したのが音楽と数学を愛した古代ギリシア人でした。ギリシア人たちは、この「ぐあいのよい」音程がなにかについて熱心に研究しました⑧。そ

して、何回も実験を繰り返した結果、当時使われていたあらゆる音程について、その音と音との関係をつきとめたのでした。彼らが発見した協和音程を、いま私たちはオクターブ、5度、4度、長3度(ドとミの関係)、短3度(ドとフラットのついたミとの関係)と呼んでいます。⑩これらの音程の音の間には、みごとな数学的法則があります。これを発見したとき、数学を愛した古代ギリシア人は、どんなに嬉しかったことでしょう。⑩

私たちも簡単な楽器をつくって、この法則を確かめてみましょう。

用意するもの——ギターかバイオリンの弦を2本、くき、板きれ。⑪

始めにこの楽器の基準の音をつくりましょう。板に2本のくぎを打って、ここに弦を1本ぴんと張ります。この第一の弦を弾いてでる音を、この楽器の基準の音とします⑫。それでは、この基準の音に対してそれぞれオクターブ、5度、4度、長3度、短3度上の音をつくってみましょう。

それには、第一の弦と平行に第二の弦を張り、第一の弦の音と同じ高さの音がでるように張りぐあいをかげんします⑬。これはなかなか難しいので、念入りにやりましょう。うまく張れたら、第二の弦のきつかり2分の1のところを指か厚紙でおさえて、一方の部分を弾いて音を出してごらん下さい⑭。第一の弦の音よりずっと高い音がでますね⑮。この音は第一の弦とよくひびき合って、⑯同じ音のように聞こえます。これがオクターブの音です。

つぎは、第二の弦の3分の1のところを押さえて、長い方の部分を鳴らしてみましょう。第一の弦の音の5度上の音

が出ます。第一の弦といっしょに鳴らせば美しい和音になるはずです。

同じように、第二の弦の4分の1、5分の1、6分の1のところを押さえて長い方の部分を鳴らせば、第一の弦の音に対してそれぞれ4度、長3度、短3度上の音がでます。つまり、弦の長さを2分の1、3分の2、4分の3、5分の4、6分の5にすると⑩、音の高さはもとの音のそれぞれオクターブ、5度、4度、長3度、短3度上の音になります。

あなたが工作するときの参考に、一つの例をあげておきましょう。⑪もとの弦の長さを36センチとすれば、それぞれの音程の音をだすには、それぞれ下の図の長さのところで弦を押さえればよいのです。⑫

音の高低は、波の頂点から頂点までの距離で測ります。⑬

音の大小は、波の頂点から底までの距離で測ります。

協和音の弦の長さは、こんなにみごとに数学的な比になっているのです。この数学的な音程を使って歌ったり演奏したりしなさいと、だれも命令しにわけではないのに、これらの音から美しい音楽が生まれるなんて、不思議ですね。⑭ですから古代ギリシア人は、このことは宇宙もまた数学的な秩序にしたがってきちんとつくられていることを物語る証拠だと推理したのです。⑮

音楽は、オシロスコープという装置で測ることができます。オシロスコープは音を「聞い」て、それをスクリーンの上の映像にかえる装置です。⑯音は波型の絵になります。

ですから音楽は、耳で聞くばかりでなく、数字的に見たり、測ったりもできるのです。②

注 釋

① 輪ゴムをきつく張って、指先でペンペン鳴らしてみたことはありませんか。(你们可曾蹦紧橡皮筋，用手指尖弹得砰砰发响过?) “ペンペン”是拟声词。动词连用形+“たことがある”，表示“曾……”的语意。这里用的是其否定形式。

② 輪ゴムを弾けば音楽をやっていることになるのでしょうか。(弹起橡皮筋，就好像是在演奏音乐吧?) “……になる”，惯用型，表示转化的结果，翻译时视上下文灵活处理。例如“彼は労働者になった”译为“他当了工人”。

③ 音程は2度、3度、4度と言うように数えます。(音程按“2度、3度、4度”来数。)”“というように”概括前句的内容，此处是指“数える”的内容。

④ たとえば、ドの音を……ミの音は三つめですから3度といいます。(例如，如果以“多”这个音为基准，旁边的“瑞”是第二个音，称为2度，“米”是第三个音，称为3度。)”“ドの音”的“の”是格助词，表示同格关系。如“会長の竹中氏”，译为“会长竹中”。“……を……にする”是惯用型，意思是“以……当(做)……”。“三つめ”的“め”是接尾词，接在数词下面表示顺序，第……。如“三年目”，译为“第三年”。

⑤ ……ドとソ(5度の音)のように、いっしょに鳴らすと耳に快くひびく二つの音を協和音といいます。

(……把象“多”和“校”(5度音)那样，合鸣时发出悦

耳的声音的两个音称为谐音。)“耳に快くひびく”,译为“悦耳”。“に”表示动作的对象。

⑥ 音、音楽がまだ人間の声やごく簡単な楽器だけで演奏されていたところから……。 (从还只能用人的声音或极简单的乐器演奏歌曲、音乐时起……。)

⑦ でも、それがなぜかわからなかったのです。(不过,不知道那是什么缘故。)”“それ”指前面提到的某些音程的音悦耳。

⑧ ギリシア人たちは、この「ぐあいのよい」音程がなにかについて熱心に研究しました。(这些美妙的音程是什么,希腊人进行了认真研究。)”“ぐあいのよい”即“ぐあいがよい”。在具有主谓关系的定语句中,常用“の”代替主格助词“が”,表示主语。

⑨ 彼らが発見した協和音程を……短3度(ドとフラットのついたミとの係関)と呼んでいます。(现在,我们将他们发现的谐音程称为音组、5度、4度、长3度(“多”和“米”的关系)、短3度(“多”和降半音的“咪”的关系。))这句的宾语放在句首,是为了强调。

⑩ ……どんなに嬉しかったことでしょう。(……是多么高兴啊!)“どんなに……だろう”是惯用型,表示“多么……啊”!

⑪ 用意するもの——ギターかバイオリンの弦を2本、くぎ、板きれ。(要准备的東西是吉它或小提琴的弦二根,釘子,木板。)”“か”是副助词,表示从几个事物中选择一个。如“ふだん忙しいから土よう日の午後か日よう日に来てください”,译为“由于平时比较忙,请星期六的下午或星期天来”。